



守るのは公約ではなく、自公との約束だけ

公約破りの野田内閣

二〇〇九年の衆院選で「消費税増税はしない」として、民主党は政権についた。

ところが、野田内閣は、消費税増税を柱とする社会保障・税一体改革関連法を民自公などで本年八月に成立させた。消費税は再来年に八%に、二〇一五年に十%になる。

政府試算によると、この一体改革で年収三百万世帯（夫婦と子供二人）では二四万の負担増。手取りは一割位減ることになる。一方、高額所得者は収入の一部しか消費しないから、負担は少ない。

党首討論で

この消費税引き上げの為に、野田首相は「近いうちに解散」を自公に約束。一方「今解散

すべきではない」と民主党の常任幹事会。「ボクちゃんね子供の時

正直に馬鹿がつくと通知表に書かれたの。近いうちって約束したから嘘つきって云われたくないの」と、党首討論で自民党に十六日解散を野田首相は表明。

国民への約束「消費税は上げない」は破っても自公との約束は守る。これって「どんな犯罪をしても、親分への約束は守る」暴力団と同じでは？

津波からの復興策、原発停止、オスプレイの飛行停止、大企業の不当な人減らしストップ、TPP。そういうことについて国会でいろいろな党が議論を闘わし、違いを明らかにした上で国民に信を問うのが「解散・総選挙」ではないか？
皆さんはどう思われますか？

トラピスト修道院管理棟



函館の西、当別の丘にトラピスト修道院がある。正式名称は「厳律シトー会灯台の聖母大修道院」。名前の通り戒律は厳格。内部を見学するには予め予約が必要だし、男子修道院なので、見学できるのは男子だけ。正門の格子の間から、中を覗けるが、きれいな芝生に点々と木が植わり、その先に石造りの美しい建物が見える。窓ガラスはきれいに磨かれているが、人影は見えない。修行の邪魔にならないように外部の人影、外の女性が見える窓際には修道士は来ないのかも知れない。

門の前を左に進むと、管理棟があった。見学の受付もここで行っている。手続きを聞いている人がいた。時折、門が開き、トラピスター等の製品だろうか？